

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1102	(H.28)No.	1102
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害者アグリ雇用推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡昌行	

会計区分	事業コード	307001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	障害者アグリ雇用推進事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	障害者アグリ雇用推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり
	施策	1	雇用創出
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業関係者及び障害者を含む福祉関係者相互の理解を深め、障害者の農業就労を推進することにより、障害者の自立を促進し、また障害者の心身の健康や機能回復を図り生活の向上を目指す。
事業内容
農業分野における障害者就労を推進するため、名張市障害者アグリ雇用推進協議会において農業ジョブトレーナーの養成や農業就労体験、研修会等の必要な取組を行う。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規取組事業者の開拓 農業参入検討事業者(3社)と課題等情報交換</li> <li>○障害者雇用の推進 農業分野への新規雇用(一般企業1名、A型事業所4名)</li> <li>○障害者就農体験学習 年間36回実施(45日、実習人数463名)</li> <li>○農業分野での作業受委託もみ殻の袋詰め、果樹園の草刈、ハウス内清掃、除草等2事業所で実施</li> <li>○スキルアップ研修会(3回) 農業ジョブトレーナーとしての資質向上を図る。</li> <li>○広報・啓発活動 研修会やイベントを通じて、農業分野での障害者就労について啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規農業事業者の発掘と障害者雇用の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取組事業者の開拓</li> <li>・障害者雇用の推進</li> </ul> </li> <li>○生産農園の立ち上げ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフシェアリング部会の設置</li> </ul> </li> <li>○農業ジョブトレーナーのスキルアップ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者就農体験学習</li> <li>・農業分野での作業受委託</li> <li>・農業ジョブトレーナースキルアップ研修会</li> </ul> </li> <li>○地域関係機関との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・定着支援</li> <li>・特別支援学校との連携</li> <li>・広報活動</li> </ul> </li> </ul>	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		756千円		767千円	767千円	767千円	767千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	756	0	767	767	767
人工数	職員		0.11人		0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等		0.00人		0.00人		
②概算人件費	0千円	825千円	0千円	375千円	375千円	375千円	375千円
①+②総事業費	0千円	1,581千円	0千円	1,142千円	1,142千円	1,142千円	1,142千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の実績評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
農業就農体験を計36回開催し、延べ463名の障害者が参加した。また、特別支援学校との連携により収穫体験や加工、販売体験を実施し、啓発推進を図った。加えて、2事業所で農作業の受委託事業を随時実施した。障害者の農業就農や体験実習の実施による就農意欲の向上、就農先の選択肢の拡大等に貢献している。また、市内事業所等との更なる連携により、就農や作業の受け皿を拡大していける可能性がある。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画 第三次名張市障害者福祉計画 第二次名張市農業マスタープラン
これまでの取組の結果、障害者の農業就農に向けた体制の構築は完了しており、今後は、様々な就農形態も考慮し、労働力を求める農業事業者と農業分野での就農を希望する障害者とのマッチングを図り、様々な形での就農につなげていく。実際に雇用に結びつく事例は依然として少なく、今後は就農形態の多様化による様々な形での就農を検討し、引き続き、就農実績の増加を目指していく。	